

第7期（2025年度）事業報告

2026年4月

【要約】

2025年度（第7期）、公益財団法人ちくご川コミュニティ財団は、計画に基づき「事業」「組織」「財源」の3本柱で事業を推進した。本年度は特に、公益財団法人化の実現という大きな成果を達成した年となった。

「事業」の柱では、2023年度通常枠「困難を抱える家庭を取り残さない仕組みづくり」が2年度目を迎え、個別の伴走支援を充実させると共にコレクティブインパクトチーム（アンバイジャー）としての活動を深化させた。2024年度通常枠「ひとりひとりに合った多様な学びを支える地域共生事業」では5団体を採択し8月より実行団体の事業が開始した。2024年度活動支援団体「筑後川関係地域の子ども若者支援の持続可能性向上プログラム」では8つの支援対象団体を選定し、10月より伴走支援を本格開始した。一方、2025年度通常枠への申請は2026年2月18日付でJANPIAより不採択となり、次年度以降の再申請に向けた計画見直しを行う。また、久留米市より「久留米市市民活動・多様な資金調達応援事業」、「クラウドファンディング活用セミナー実施業務」、「市民活動団体のクラウドファンディング活用支援業務」を受託し、事業を行った。

「組織」の柱では、長年の目標であった公益財団法人への移行を2025年10月30日に実現した。公益法人法の改正に対応した体制整備（外部理事・監事の就任、定款改訂等）を経て公益認定を取得し、「公益財団法人ちくご川コミュニティ財団」として新たなステージに入った。これにより、地域社会から一層の信頼を得るとともに、寄付税制上のメリット等を活かした財源多様化の基盤が整った。

「財源」の柱では、休眠預金活用事業を主軸としながら、マンスリーサポーターの拡大、遺贈寄付の推進、行政委託事業の継続に取り組んだ。2026年3月17日には「感謝のつどい」を開催し、支援者・寄付者との関係強化を図った。

財団設立（2019年）以来の累計実績として、助成総額3億9,277万円（一部予定の助成金含む、支援件数470件）、寄付総額4,900万円を達成しており、地域の民間公益活動の基盤形成に着実に貢献している。

【短期アウトカム、アウトプット、活動の結果について】

2025年度は中期計画2年度目として、短期アウトカムを事業、組織、財源の3本柱に分類し4個設定した。短期アウトカムの達成時期は中期計画中（1～3年後）とし、それぞれにアウトプット、活動を計画した。2025年度に特に注力したアウトプット、活動の結果について以下に詳述する。

「事業」の柱

【短期アウトカム1】

子ども若者支援、家庭支援、災害支援に特化した助成、組織基盤強化、環境整備を実施することにより、民間公益活動における地域の基盤を強化する

【アウトプット1】

1-1. 休眠預金活用事業による子ども若者支援、家庭支援、災害支援における助成、組織基盤強化、環境整備を実施している

<活動結果>

1-1-1. 休眠預金活用事業 2023年度通常枠の実施

2023年度通常枠「困難を抱える家庭を取り残さない仕組みづくり」は2年度目（最終年度に向けた継続年度）を迎えた。初年度（2024年度）に構築した6つの実行団体との関係性とコレクティブインパクトチーム（アンバイジャー）を基盤として、活動の拡大と深化を図った。

各実行団体との個別伴走支援を継続しながら、コレクティブインパクトチーム（アンバイジャー）全体での定例会議・研修会を実施した。

2025年4月22日、第7回アンバイジャー（コレクティブインパクトチーム）定例会を開催した。会議の冒頭では2月のリッチピクチャー研修での成果を振り返り、目標の可視化について確認した。各団体からは新年度の活動報告があり、地域での子育て支援・教育・食の支援など多様な取り組みが共有された。議論を通じて「社会に声を届け、安心して暮らせる社会をつくる」という共通目標が改めて確認され、チーム全体の方向性が整理された。今後のアクションとして、各団体が「声を届ける」ための具体的な活動案を検討し、ロジックモデルの見直しを行うこととした。

初年度の事前評価から得られた知見をもとに、各実行団体の事業設計の継続的な改善支援を行い、アウトカムの達成に向けた活動の質的向上を図った。6団体への2025年度の助成総額は35,037,746円であった。

また、2025年11月16日には、久留米市内において、チームアンバイジャーの取り組みとして「筑後川関係地域の子ども・子育て支援を考える地域円卓会議」を開催した。テーマを「地域でつくる切れ目ない子ども・子育て支援」とし、地域関係者が一堂に会し、子ども・子育て支援の課題と連携の在り方について議論を行った。2026年1月30日に開催報告書を公開した。（<https://c-comfund.com/info/kyumin/20260130.html>）

■ 2023 年度通常枠 実行団体別助成金内訳（精算報告累計）

実行団体名	所在地	2025 年度助成金額
（一社）umau.	久留米市	10,063,000 円
（一社）産前産後サポーター協会	小郡市	6,433,040 円
特定非営利活動法人にじいろ CAP	久留米市	6,721,000 円
（一社）お母さん大学福岡支局	久留米市	6,506,700 円
いろり	鳥栖市	2,393,355 円
特定非営利活動法人久留米市手をつなぐ育成会	久留米市	2,353,651 円
合 計（6 団体）		35,037,746 円

1－1－2．休眠預金活用事業 2024 年度通常枠の実施

2024 年度通常枠「ひとりひとりに合った多様な学びを支える地域共生事業」は、2025 年 4 月より実行団体への公募を開始した。本事業は、学校に行けない・行かない子どもとその保護者に対して、アウトリーチ、地域、学びの場の三本柱で支援を展開するものである。

4 月の公募開始後、書類審査・面接審査を経て 5 団体を採択した。実行団体の事業を 10 月に開始。課題の分析、事業設計の分析を行う事前評価を中心に事業運営を行った。事前評価として採択前から各実行団体候補との関係構築を進め、地域の子どもや保護者のニーズを踏まえた事業設計の改善を支援した。5 団体への 2025 年度の助成総額は 33,675,394 円であった。

■ 2024 年度通常枠 実行団体別助成金内訳（精算報告累計）

実行団体名	所在地	採択助成額	2025 年度助成金額
一般社団法人 KATARU・公益財団法人筑後市文化振興公社	筑後市	24,990,000 円	7,950,735 円
ほしのこども学舎	久山町	24,400,000 円	7,032,835 円
認定特定非営利活動法人ミタイミ タクニャイ子ども基金	福岡市	24,990,000 円	6,724,176 円
一般社団法人 OMUTA BRIDGE	大牟田市	24,880,000 円	6,418,000 円
労働者協同組合ワーカーズコー プ・センター事業団西ふくおか事 業所	福岡市	24,480,000 円	5,549,648 円
合 計（5 団体）		123,740,000 円	33,675,394 円

1-1-3. 休眠預金活用事業による災害支援の実施

災害対応については、発災時に適宜、休眠預金の活用を検討することとしていたが、2025年度において事業対象地域で大規模な自然災害が発生しなかったため実施しなかった。

1-2. 休眠預金活用事業の活動支援団体として、子ども若者支援、家庭支援、災害支援における CSO の組織基盤強化、環境整備を実施している

<活動結果>

1-2-1. 活動支援団体として事業を実施する

2024 年度活動支援団体として採択された「筑後川関係地域の子ども若者支援の持続可能性向上プログラム」（総額約 4,990 万円）の本格実施年度となった。本事業は、筑後川関係地域で子ども若者とその家庭を支援する市民社会組織（CSO）を対象に、次世代の担い手確保・育成・事業継承を目的とする。

5 月より支援対象団体の公募を開始し、審査を経て 8 つの CSO を採択した。採択団体の支援対象事業は 10 月より本格開始となり、財団による PCM 手法を活用した事業設計支援、NPO マネジメント診断、広報・ファンドレイジング伴走支援等を実施。

■ 2024 年度活動支援団体 支援対象団体一覧（8 団体）

団体名	所在地	事業名
特定非営利活動法人 風の アオライ	福岡県福 津市	心和学園 多様な学びを支える体制強化と事業基盤の安定化

団体名	所在地	事業名
不登校・ひきこもり家族の会「ふきのとう」	福岡県大牟田市	生きづらさに寄り添う居場所づくりと社会へのつなぎ手 ふきのとうの未来図
けいちくトイロ	福岡県行橋市	けいちく多様な学び支援の基盤強化プロジェクト
NPO 法人アコア	福岡県福岡市	組織基盤強化事業
つながるツリーハウス	福岡県八女市	地域材を活用した木育による子ども・若者の居場所づくりと地域交流促進事業
特定非営利活動法人 子どもパートナーズ HUG っこ	福岡県古賀市	子育て支援事業及び子どもの居場所・体験事業
特定非営利活動法人 フリースペースよつば	福岡県朝倉市	よつば未来デザイン事業
特定非営利活動法人 舞台アート工房・劇列車	福岡県久留米市	組織と財政と広報の三位一体で事業を支える力を伸ばすプロジェクト

JICA 海外協力隊 OBOG 等とのマッチングを通じた「Social Flow Bridging Program (SFBP)」を試験的に実施した。福岡県福津市の NPO 法人風のアオライと、エチオピア派遣 JICA 海外協力隊員 OB をマッチングし、3 月 3 日にダーニング（繕い）ワークショップを開催した。

地場企業と連携した月に一回のマネジメント研修などを通し、支援対象団体の組織運営能力の向上、団体同士の関係深化を進めた。

1-3. 独自プログラムにより子ども若者支援、家庭支援、災害支援における助成事業を実施している

<活動結果>

1-3-1. 子ども若者基金に関する計画の策定

子ども若者応援助成については今年度の実施予定はなく、今後の基金運用についての計画策定を行った。休眠預金活用事業の運営と並行しながら、次年度以降の独自助成事業の在り方についての検討を進めた。

1-3-2. 災害支援基金による助成、組織基盤強化、環境整備の実施

事業対象地域で大規模な災害が発生しなかったため実施しなかった。引き続き発災時に即応できる体制を維持している。

1-3-3. 多様な学びの場を保障する基金による奨学金事業の実施

多様な学びの場を保障する基金（たまきちゃん）による奨学金事業を継続実施した。奨学生7名に対して、月額給付を継続し、給付総額は約136万円であった。適宜奨学生・保護者へのヒアリングを実施し、給付が学びの継続と安心につながっていることを確認した。

広報面では、副理事長 庄田清人・理事兼企画広報部長 柳田あかねが交代で執筆してきた西日本新聞「みんなのたまきちゃん」連載（月1回・全24回）が2025年度末の2026年3月15日付掲載をもって2年間の連載を完結した。最終回では「子どもの多様な学びの場を保障する基金（たまきちゃん）」の誕生から2年間の歩みを振り返り、地域での認知拡大に貢献した。

1-3-4. 生田幸平・裕子基金による奨学金事業の実施

2024年度に設立した生田幸平・裕子基金（冠基金）による奨学金事業を引き続き実施した。基金の運用状況を適切に管理しながら、奨学事業としての安定的な給付体制を維持した。

第二期目の募集を11月に行い、新規で3名の奨学生が決定した。今年度は合計10名に対して、月額給付を継続し、給付総額は約174万円であった。

1-4. 独自プログラムとして、CSOの組織基盤強化事業、環境整備事業を実施している

<活動結果>

1-4-1. CCF 組織基盤強化メニューの実施

伴走支援の体系化を引き続き進め、有料メニューとしての確立を目指した。前年度に実施したクラウドファンディング伴走支援の知見をもとに、メニューの標準化と料金体系の整備を進めた。久留米市の企業1社に対して、有料のクラウドファンディングの伴走支援を実施した。

1-4-2. CCF 環境整備メニューの実施

複数の休眠預金活用事業の運営が並行するなか、リソースの配分を慎重に管理しながら取り組んだ。

1－5．行政からの委託事業により、CSOの組織基盤強化事業、環境整備事業を実施している

<活動結果>

1－5－1．久留米市プロポーザルへの申請

久留米市における委託事業の継続・拡充に向けて「久留米市市民活動・多様な資金調達応援事業」プロポーザルへの申請を行い、採択された。

1－5－2．久留米市委託事業の実施

前年度に実績を積んだ久留米市委託事業「クラウドファンディング活用セミナー実施業務」、「市民活動団体のクラウドファンディング活用支援業務」の2024年度からの継続的な実施。新規で「久留米市市民活動・多様な資金調達応援事業」を受託し、事業運営を行った。

【短期アウトカム2】

コミュニティの持続可能性向上をテーマ（子ども若者支援、家庭支援、災害支援以外の分野）とした助成、組織基盤強化、環境整備を実施することにより、民間公益活動における地域の基盤を強化する

【アウトプット2】

2－1．休眠預金活用事業によるコミュニティの持続可能性向上をテーマとした助成、組織基盤強化、環境整備を検討している

<活動結果>

2－1－1．休眠預金活用事業 2025年度通常枠への申請

2025年度通常枠に「人材希少社会を支える地域総働プログラム」として申請を行ったが、2026年2月18日付でJANPIAより不採択の通知を受けた。次年度以降の再申請に向け、指摘された課題を踏まえた事業計画の見直しを行う。

「組織」の柱

【短期アウトカム3】

公益財団法人として更なるガバナンス・コンプライアンス体制の強化ができ、地域社会から信頼されている

【アウトプット3】

3-1. 公益財団法人化が実現している

<活動結果>

3-1-1. 公益財団法人化の実現

前年度に公益法人法の改正（外部理事・監事の要件追加）に対応するため申請を2025年度へ延期していたことを受け、本年度は申請作業を本格化させた。外部理事・監事の人選、定款の見直し、公益目的事業の整理など必要な準備を進め、2025年10月30日に公益財団法人の認定を取得し、「公益財団法人ちくご川コミュニティ財団」として移行を実現した。

公益財団法人化により、寄付者への税制優遇（寄付金控除等）が拡充され、財源多様化・寄付獲得の環境が整った。また、行政・他公益法人との連携やガバメント・クラウドファンディングなどの公的事业への参画において対外的な信頼性が高まった。引き続き、公益法人としてのガバナンス・コンプライアンス体制の維持・強化に努める。

3-2. グッドギビング認証制度について検討できている

<活動結果>

3-2-1. 規定類の整備状況のチェック

公益法人申請に伴う規程類の追加・改訂を継続するとともに、ガバナンス・コンプライアンス体制のチェックリストに基づく整備状況の確認を実施した。

3-2-2. 規定類の運用状況のチェック

理事会等において規定類の運用状況を定期的に確認した。新たな規程については、運用開始後の実態との乖離がないかを確認しながら適宜改訂を行った。

3-2-3. 更新のための申請

前年度に認証制度の変更があったため、新制度への移行対応を継続して検討した。来年度の更新申請に向けて、必要な対応策の整理を進めた。

【短期アウトカム4】

「プログラムオフィサーやバックオフィスに適材適所の人材確保がなされ、かつ業務効率が改善されることにより、グループ・ダイナミクスが起きている」

【アウトプット4】

4-1. PO人材が確保でき、育成の仕組みができています

＜活動結果＞

4-1-1. PO人材採用のための活動

前年度末に確立したPO4名・PO補佐5名の計9名体制を基盤として、2025年度の事業実施に対応した。2024年度通常枠および活動支援団体の事業開始に伴い、担当POの配置を適切に調整し、事業の質を維持した。PO補佐候補者の確保について継続的に意識し、候補者の育成を進めた。

【POチームメンバー（2025年度）】

副理事長兼統括責任者・PO：庄田

理事兼企画広報部長・PO：柳田

理事兼事業部長・PO：鬼丸

PO：1名

PO補佐：4名

PO補佐（大学生インターン）：1名

【国際ボランティア学会「村井吉敬賞」受賞】

2026年4月6日、POチームが国際ボランティア学会2025年度「村井吉敬賞」を受賞した（受賞発表：2026年3月立教大学池袋キャンパス）。本賞は、市民社会やボランティア分野において意義ある実践を行った団体・個人に贈られるものであり、表彰式は2026年度国際ボランティア学会（日程未定）で行われる予定である。

評価された点は、「資金だけでなく団体や個人に伴走する支援の仕組み」であり、活動そのものだけでなく「それを支える仕組みの重要性」が認められたものとして財団は受け止めている。

受賞理由として評価された主な取り組みは以下のとおりである。

西日本新聞社と協働したクラウドファンディングにより基金を創設・奨学金事業をスタートさせたこと

不登校支援に関する地域円卓会議の開催とネットワーク形成

白書発行による社会課題の可視化と発信（『たまきちゃん白書』等）

自治体における支援制度導入への政策波及

4-1-2. PO 評価プログラムの作成

前年度に作成した JANPIA の PO に求められる 10 の力をもとにした能力評価プログラムを本格運用した。定期的な評価を通じて PO 人材の成長状況を確認し、個別の育成計画に反映させた。

4-1-3. PO 人材育成プログラムの作成

前年度に作成した PO 業務リストと OJT の仕組みを基盤として、育成プログラムの本格運用を開始した。特に新規採用の PO 補佐や昇進した PO に対して業務リスト等に基づく体系的な OJT を実施し、実務を通じた能力向上を図った。

4-2. BO 人材が確保できている

<活動結果>

4-2-1. BO 人材採用のための活動（即戦力人材の確保）

BO 専任人材の採用について引き続き検討を進めたが実際の採用はなかった。PO 人材が BO 業務を兼務することで機能を補完しながら、業務効率化による負荷の軽減を図った。

4-2-2. BO 業務ツール（アウトソーシング）の検討・活用

前年度に奨学金事業に導入した kintone の活用を拡大し、他の業務への展開を検討した。業務プロセスの整理と効率化ツールの導入により、バックオフィス機能の強化を図った。

4-3. PO・BO 人材がチームとして業務を実施している

<活動結果>

4-3-1. PO チームの組成・運用

PO・PO 補佐 9 名体制のもとで、複数の休眠預金活用事業を並行して担う PO チームとして機能した。毎週のチームミーティングと情報共有の仕組みを整え、事業横断的な連携を強化した。ケース会議も導入し、困難事例について相談、アドバイスできる場を設け、事業のリスク低減、人材育成を進めた。

4-3-2. PO・BO 連携の仕組みづくり

前年度に課題として残った PO・BO 連携の仕組みづくりについて、会計フローの見直しなどコミュニケーションの量と質を高め、業務上の連携がよりスムーズになるよう、役割分担と情報共有の仕組みを整えた。

「財源」の柱

【短期アウトカム5】

休眠預金活用事業による財源確保とそれ以外の財源として、寄付収入の増加、遺贈寄付の推進、自主事業による収入、自治体からの委託事業等の獲得により、財源の多様化と安定化を果たす

【アウトプット5】

5-1. 休眠預金活用事業（2023 年度通常枠・2024 年度通常枠、2024 年度活動支援団体）による財源の確保と事業ごとの自己資金の調達ができている

<活動結果>

5-1-1. 通常枠事業ごとの基金の設立

2024 年度通常枠「ひとりひとりに合った多様な学びを支える地域共生事業」については、関連する基金の設立・活用について検討を進めた。また、2023 年度通常枠については、最終年度に向けた自己資金調達を優先的に進めた。

5-1-2. 通常枠事業（テーマ）ごとのマンスリーサポーターの獲得

各事業テーマに対応したマンスリーサポーターの獲得に向けた取り組みを実施した。事業の広報と連動させながら、関係者への周知と共感の醸成を図った。

5-2. 寄付収入が増加している

<活動結果>

5-2-1. CCF マンスリーサポーター制度の改善に関わる活動

前年度（2024年度）にマンスリー継続寄付が前年比 85 万円増（107 万 5 千円）となった勢いを継続させるため、引き続きマンスリーサポーター獲得に向けたキャンペーンや広報活動を実施した。公益財団法人化に伴い**寄付金税額控除**が適用可能となったことを積極的に周知し、新規サポーター獲得に活かした。

公益財団法人化を記念した期間限定キャンペーン（～2026 年 4 月 14 日）を実施し、新規サポーター 30 名獲得を目標に設定。キャンペーン中に SNS でサポーターの声を紹介するシリーズ投稿を行い、**マンスリーサポーター累計 48 名**を達成した。

5-2-2. 法人寄付獲得のための活動

企業・法人からの寄付獲得に向けた具体的な活動に取り組んだ。事業の成果や社会的インパクトを整理しながら、寄付提案の材料づくりを進めた。

5-3. 遺贈寄付の獲得、もしくは遺贈寄付につながる案件がある

<活動結果>

5-3-1. 遺贈寄付推進のための活動

前年度（2024 年度 9 月）に実施した遺贈寄付シンポジウムの実績をもとに、引き続き遺贈寄付の推進活動を実施した。今年度中の遺贈寄付 1 件以上の獲得を目標として、関係者へのアプローチと啓発活動を継続した。

5-4. 行政等からの委託事業を獲得している

<活動結果>

5-4-1. ガバメント・クラウドファンディングについての委託事業等

久留米市との関係を継続し、ガバメント・クラウドファンディング関連の委託事業について実施した。

5-4-2. CSO 個別伴走支援についての委託事業等

行政機関からの CSO 個別伴走支援についての事業を受託した。

5-4-3. みんなくるとの協働による資金の獲得

みんなくるとの協働関係を維持しながら、資金獲得に向けた連携の可能性を継続して検討した。

5-5. 自主事業による収入がある

<活動結果>

5-5-1. 有料の伴走支援メニューの実施

伴走支援メニューの有料化に向けた体系化を引き続き進め、1件の有料伴走支援を実施した。今年度中に数十万円規模の収入獲得を目標として取り組んだ。

5-5-2. 出版物の発行・販売

前年度より作成を開始した『たまきちゃん白書』を発行し、関係機関に配布した。

機関運営

1 評議員会

第7回定時評議員会

日 時：2025年6月21日（土）14時～15時30分

【議案】

- 第1号議案 第6期（2024年4月～2025年3月）事業報告並びに決算報告書の承認を求める件
- 第2号議案 第7期（2025年4月～2026年3月）事業計画案の承認を求める件
- 第3号議案 第7期（2025年4月～2026年3月）予算案の承認を求める件
- 第4号議案 任期満了に伴い理事を選任する件
- 第5号議案 評議員1名を選任する件
- 第6号議案 公益認定化のための定款の改定の件

2 理事会（第7年度：2025年4月1日～2026年3月31日）

第56回理事会 2025年4月3日 12:00～13:00

【議案】公益認定化に向けた外部理事・監事選任方針／次期理事会体制および事業方針／家庭支援民間調査研究部会の共同事務局について

第57回理事会 2025年5月8日 12:00～12:30

【議案】第6回定時評議員会協議事項の承認／理事改選に伴う理事候補案（池本修悟氏を外部理事候補として含む6名）／評議員候補案

第58回理事会 2025年5月29日 12:00～13:20

【議案】第6期（2024年度）事業報告および決算報告／第7期（2025年度）事業計画・予算案／理事改選に伴う理事選任候補

第59回理事会 2025年7月31日 12:00～13:20

【議案】2024年度通常枠休眠預金等活用事業 実行団体5団体の採択決定

第60回理事会 2025年8月28日 12:00～13:00

【議案】2025年度通常枠休眠預金等活用事業への申請方針（久留米市との共同事業として協議を進める）／グッドギビングマーク認証の申請については様子見とすることを了承

第61回理事会 2025年9月25日 12:00～13:00

【議案】活動支援団体 支援対象団体の決定（臨時理事会を9月29日に開催）／公益認定申請に係る公益事業の決定（助成事業・奨学金事業・組織基盤強化・環境整備）／名義後援依頼の了承／生田幸平・裕子基金 第2回奨学生募集の承認

第62回理事会 2025年10月30日 12:00～13:00

※本日、内閣府より公益認定書が到達し、公益財団法人に認定

【議案】公益認定に伴う名称変更等（諸規程の財団名称変更を一括承認）／2025年度通常枠資金分配団体申請（事業名「人材希少社会を支える地域創造プログラム」）／子どもセンター設立要望書への賛同

第63回理事会 2025年11月27日 12:00～13:00

【議案】財団 INFO 宛メールの個人情報対応および組織的対応方針の確定／2026年行事日程案の提示／グッドギビングマーク賛同団体登録の承認／小郡市相続ガイドブックへの広告掲載の承認／チャリティイベント（高橋巧プロとバレーボールであそぼう）開催の承認

第64回理事会

【議案】2026年の会議等・財団休日の日程決定／公益法人化に伴う分かち決算（2025年4月1日～10月29日分）の承認

第65回理事会 2026年1月29日 12:00～12:30

【議案】公益法人化に伴う諸手続きの承認（内閣府への事業報告等提出、税額控除に係る証明申請）

第66回理事会 2026年3月5日 12:00～13:00

【議案】内閣府提出書類（2026年度事業計画・収支予算書等）の承認／感謝の集いのイベント協賛金募集の承認（個人・法人とも協賛金・寄付金を選択可）／古本募金の開始（つなぐ書店と提携、4月から）／寄付者対応マニュアル策定方針の承認

3 役員等の状況（2025年度末現在）

【理事】（計6名）

理事長 宮原 信孝
副理事長 庄田 清人
理 事 赤司 喜一郎
理 事 柳田 あかね
理 事 池本 修悟（外部理事）
理 事 鬼丸 武士

【監事】（計2名）

監 事 田中 健太郎
監 事 川野 武志（外部監事）

【評議員】（計10名）

大内田 治男、久原 正治、渡邊 一生、森 雅徳、黒川 幸治、才田 亜希子、伊佐 淳、江上 武幸、根木 佳織、坂井 尚史

4 事務局体制

・プログラムオフィサー（PO）チーム 9名体制

PO（4名）：庄田（副理事長）、柳田（理事兼企画広報部長）、鬼丸（理事兼事業部長）、他1名

PO補佐：4名

PO補佐（インターン）：1名

・バックオフィス（BO）

事務局長：赤司

事務局職員：1名

以上

令和7年度 正味財産増減表
自2025年4月1日 至2026年3月31日

資料3-1

公益財団法人ちくご川コミュニティ財団

(単位：円) 2026.4.1

科 目		7年度(4/1-10/29)実績	7年度(10/30-3/31)実績	合 計	6年度実績	増 減
1. 一般正味財産の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用益		2,747	3,210	5,957	1,621	4,336
基本財産受取利息		2,747	3,210	5,957		
特定資産運用益		7,661	6,867	14,528	4,917	9,611
特定資産受取利息		7,661	6,867	14,528		
事業収益		0	2,300,000	2,300,000	0	2,300,000
受託事業		0	2,300,000	2,300,000		
その他の事業収入		0	0	0		
受取補助金等振替額	(a)	74,143,497	29,747,835	103,891,332	138,150,485	-34,259,153
国庫補助金		0	0	0		
民間助成金		74,143,497	29,747,835	103,891,332		
寄付金振替額	(b)	4,287,916	1,270,933	5,558,849	5,374,296	184,553
子ども若者応援助成		1,669,242	-3	1,669,239		
災害支援		-161	98,700	98,539		
たまきちゃん		1,978,408	438,327	2,416,735		
生田幸平・裕子基金		640,427	733,909	1,374,336		
財団応援寄付		1,294,000	1,032,000	2,326,000	1,333,000	993,000
財団応援寄付		1,294,000	1,032,000	2,326,000		
雑収入		625,210	526,586	1,151,796	271,267	880,529
受取利息		726	470	1,196		
雑収入		624,484	526,116	1,150,600		
雑損失		0	0	0	70	-70
支払利息		0	0	0		0
営業外損益		625,210	526,586	1,151,796	271,197	880,599
経常収益 計	(c)	80,361,031	34,887,431	115,248,462	145,135,516	-29,887,054
(2) 経常費用						
事業費		79,259,960	31,808,815	111,068,775	142,889,994	-31,821,219
役員報酬		1,740,500	1,575,000	3,315,500	1,912,000	1,403,500
給料手当		11,000,191	8,720,354	19,720,545	18,801,272	919,273
法定福利費		1,280,036	915,324	2,195,360		
業務委託費		827,381	481,792	1,309,173		
旅費交通費		901,584	1,036,536	1,938,120		
旅費交通費(通勤手当)		487,330	308,187	795,517		
通信費		166,459	173,312	339,771		
助成金		56,596,776	14,479,060	71,075,836	109,557,235	-38,481,399
支援金		1,412,328	1,208,170	2,620,498	1,958,345	662,153

会議費		513,668	273,019	786,687		
地代家賃		332,500	237,500	570,000		
水道光熱費		101,073	99,960	201,033		
消耗品費		128,914	126,118	255,032		
租税公課		1,573	0	1,573		
研修費		12,838	118,300	131,138		
事務用品費		405,422	39,578	445,000		
事務用備品費				0		
事務用消耗品費				0		
事務機リース料		29,469	14,735	44,204		
広告宣伝費		1,581,662	484,531	2,066,193	1,877,245	188,948
支払手数料		1,578,654	1,366,212	2,944,866	971,775	1,973,091
振込手数料		50,202	61,270	111,472		
諸会費		54,250	48,500	102,750		
新聞図書費		55,100	41,357	96,457		
警備料		0		0		
雑費		2,050	0	2,050		
管理費		1,828,230	1,403,303	3,231,533	3,153,605	77,928
役員報酬		109,500	25,000	134,500		
給料手当		929,883	400,444	1,330,327	1,480,869	-150,542
福利厚生費		0	5,282	5,282		
法定福利費		215,432	0	215,432		
旅費交通費		0	183,883	183,883		
旅費交通費(通勤手当)		25,646	16,221	41,867		
通信費		98,554	89,175	187,729		
交際費		3,300	0	3,300		
会議費		11,000	2,533	13,533		
地代家賃		17,500	12,500	30,000		
水道光熱費		5,259	5,262	10,521		
消耗品費		19,608	14,091	33,699		
租税公課		67,579	2,234	69,813		
事務機リース料		1,551	775	2,326		
広告宣伝費		164,843	81,404	246,247		
支払手数料		133,694	502,560	636,254		
振込手数料		18,569	11,497	30,066		
諸会費		2,750	26,500	29,250		
新聞図書費			1,056	1,056		
雑費		3,562	22,886	26,448		
経常費用計	(d)	81,088,190	33,212,118	114,300,308	146,043,599	-31,743,291
当期一般正味財産増減額	(e)=(c)-(d)	-727,159	1,675,313	948,154	-908,083	1,856,237
一般正味財産期首残高	(e)	1,799,667	1,072,508			
一般正味財産期末残高	(f)=(e)+(d)	1,072,508	2,747,821			

2. 指定正味財産の部						
指定正味財産期首残高(休眠預金)		102,219,442	62,523,004		141,526,654	-79,003,650
受取補助金等		34,447,059	0	34,447,059	98,843,273	-64,396,214
指定正味財産期末残高	(g)	62,523,004	32,775,169		102,219,442	-69,444,273
当期指定正味財産増減額	(h)	74,143,497	29,747,835		138,150,485	-108,402,650
指定正味財産期首残高(子ども若者)		1,673,024	3,782		4,039,238	-4,039,238
受取寄付金等		0	0	0	29,000	-29,000
指定正味財産期末残高	(i)	3,782	3,785		1,673,024	-1,673,024
当期指定正味財産増減額	(j)	1,669,242	-3		2,395,214	-2,395,217
指定正味財産期首残高(災害支援)		201,333	201,494		272,920	-71,426
受取寄付金等		0	0	0	38,578	-38,578
指定正味財産期末残高	(k)	201,494	102,794		201,333	-98,539
当期指定正味財産増減額	(l)	-161	98,700		110,165	-110,165
指定正味財産期首残高(たまきちゃん)		1,558,198	712,416		3,331,000	-2,618,584
受取寄付金等		1,132,626	13,800	1,146,426	683,000	463,426
指定正味財産期末残高	(m)	712,416	287,889		1,558,198	-1,270,309
当期指定正味財産増減額	(n)	1,978,408	438,327		2,455,802	-2,017,475
指定正味財産期首残高(生田幸平裕子基金)		5,586,885	6,146,458		0	0
受取寄付金等		1,200,000	0	1,200,000	6,000,000	-4,800,000
指定正味財産期末残高	(o)	6,146,458	5,412,549		5,586,885	-5,586,885
当期指定正味財産増減額	(p)	640,427	733,909		413,115	320,794
(3)正味財産期末残高	(f)(g)(i)(k)(m)(o)	70,659,662	41,330,007		113,038,549	-71,708,542

3. 受取補助金等及び受取寄付金						
科 目		7年度(4/1～10/29)実績	7年度(10/30～3/31)実績	合 計	6年度実績	増 減
受取補助金等		34,447,059	0	34,447,059	98,843,273	-64,396,214
国庫補助金		0	0	0	0	0
民間助成金		34,447,059	0	34,447,059	98,843,273	-64,396,214
受取寄付金		3,626,626	1,045,800	4,672,426	8,083,578	-3,411,152
一回寄付		2,415,626	552,800	2,968,426	6,448,000	-3,479,574
継続寄付		573,000	493,000	1,066,000	1,075,000	-9,000
クラウドファンディング		638,000	0	638,000	522,000	116,000
遺贈寄付		0	0	0	0	0
街頭募金		0	0	0	38,578	-38,578

令和7年度 貸借対照表

令和8年3月31日現在

(単位：円)

科 目		当年度期首	当年度期末	増 減
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金		3,346	0	-3,346
小口現金		583	0	-583
当座預金		479,626	102,929	-376,697
普通預金		266,288	355,272	88,984
未収入金	(g)		2,500,000	2,500,000
前払費用	(g)	351,363	417,693	66,330
貯蔵品	(g)	4,354	4,784	430
流動資産合計		1,105,560	3,380,678	2,275,118
2. 固定資産				0
(1) 基本財産				0
普通預金		3,004,813	3,000,000	-4,813
基本財産合計	(a)	3,004,813	3,000,000	-4,813
(2) 特定資産				0
寄付受入預金(子ども若者・災害支援・たまきちゃん・生田基金)	(b)	7,064,150	5,807,017	-1,257,133
休眠預金等活用事業助成金	(c)	62,523,004	32,775,169	-29,747,835
特定資産合計		69,587,154	38,582,186	-31,004,968
(3) その他固定資産		0	0	0
敷金		0	0	0
その他固定資産合計		0	0	0
固定資産合計		72,591,967	41,582,186	-31,009,781
資産合計	(d)	73,697,527	44,962,864	-28,734,663
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払費用		2,548,548	2,515,149	-33,399
未払金		0	714,589	714,589
短期借入金		0	120,000	120,000
預り金		484,317	278,119	-206,198
前受金		5,000	5,000	0
流動負債合計		3,037,865	3,632,857	594,992
2. 固定負債			0	
			0	0
固定負債合計		0	0	0
負債合計	(e)	3,037,865	3,632,857	594,992
				0
III 正味財産の部				0
1. 指定正味財産		69,587,154	38,582,186	-31,004,968
基本財産運用益		0		0
受取助成金		62,523,004	32,775,169	-29,747,835
受取寄付金		7,064,150	5,807,017	-1,257,133
(内、基本財産への充当額)		(0)	(0)	0
(内、特定財産への充当額)		(69,587,154)	(38,582,186)	-31,004,968
2. 一般正味財産				0
一般正味財産合計	(f)=d-b-c-e	1,072,508	2,747,821	1,675,313
(内、基本財産への充当額)		(0)	(0)	0
(内、特定財産への充当額)		(0)	(0)	0
正味財産合計	(b)+(c)+(f)	70,659,662	41,330,007	-29,329,655
負債及び正味財産合計	(b)+(c)+(f)+(e)	73,697,527	44,962,864	-28,734,663
負債及び正味財産合計(CFベース)	(b)+(c)+(f)+(e)-(g)	73,341,810	42,040,387	-31,301,423

資料3-2'

令和7年10月30日

令和7年度 貸借対照表

令和7年10月29日現在

(単位：円)

科 目		当年度期首	当年度期末	増 減
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金		0	3,346	3,346
小口現金		0	583	583
当座預金		317,424	479,626	162,202
普通預金		545,442	266,288	-279,154
未収入金	(g)	6,000		-6,000
前払費用	(g)	334,084	351,363	17,279
貯蔵品	(g)	8,894	4,354	-4,540
流動資産合計		1,211,844	1,105,560	-106,284
2. 固定資産				0
(1) 基本財産				0
普通預金		3,002,486	3,004,813	2,327
基本財産合計	(a)	3,002,486	3,004,813	2,327
(2) 特定資産				0
寄付受入預金(子ども若者・災害支援・たまきちゃん・生田基金)	(b)	9,019,440	7,064,150	-1,955,290
休眠預金等活用事業助成金	(c)	102,219,442	62,523,004	-39,696,438
特定資産合計		111,238,882	69,587,154	-41,651,728
(3) その他固定資産		0	0	0
敷金		0	0	0
その他固定資産合計		0	0	0
固定資産合計		114,241,368	72,591,967	-41,649,401
資産合計	(d)	115,453,212	73,697,527	-41,755,685
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払費用		2,163,617	2,548,548	384,931
未払金		0	0	0
短期借入金		0	0	0
預り金		246,046	484,317	238,271
前受金		5,000	5,000	0
流動負債合計		2,414,663	3,037,865	623,202
2. 固定負債			0	0
			0	0
固定負債合計		0	0	0
負債合計	(e)	2,414,663	3,037,865	623,202
III 正味財産の部				0
1. 指定正味財産		111,238,882	38,073,685	-73,165,197
基本財産運用益		0	0	0
受取助成金		102,219,442	34,447,059	-67,772,383
受取寄付金		9,019,440	3,626,626	-5,392,814
(内、基本財産への充当額)		(0)	(0)	0
(内、特定財産への充当額)		(111,238,882)	(69,587,154)	-41,651,728
2. 一般正味財産				0
一般正味財産合計	(f)=d-b-c-e	1,799,667	1,072,508	-727,159
(内、基本財産への充当額)		(0)	(0)	0
(内、特定財産への充当額)		(0)	(0)	0
正味財産合計	(b)+(c)+(f)	113,038,549	70,659,662	-42,378,887
負債及び正味財産合計(CFベース)	(c)+(f)-(g)+(e)	115,104,234	73,341,810	-41,762,424

財 産 目 録
(2025年10月29日現在)

一般財団法人ちくご川コミュニティ財団

単位：円

貸借対照表科目				金 額
流動資産				
現金預金	現 金	現金による寄付		3,346
	小口現金			583
	当座預金	ゆうちょ銀行一七九支店(0172112)		479,626
	普通預金	三菱ＵＦＪ銀行久留米支店(0232415)		13,018
		福岡銀行久留米営業部(3017002)		47,060
		筑邦銀行日吉町支店(3091966)		189,252
		ゆうちょ銀行七四八支店(8822715)		16,954
		ゆうちょ銀行七四八支店(9433751)		4
			《普通預金計》	266,288
			《現金預金計》	749,843
前払費用		R7年概算保険料		351,363
貯蔵品		切手・印紙		4,354
流動資産合計				1,105,560
固定資産				
基本財産	普通預金	西日本シティ銀行東久留米支店(3089334)		3,004,813
特定財産	普通預金	筑邦銀行日吉町支店(3094730)	寄付受入預金(子ども若者基金)	3,782
	普通預金	筑邦銀行日吉町支店(3117536)	寄付受入預金(災害支援基金)	201,494
	普通預金	筑邦銀行日吉町支店(3119657)	寄付受入預金(たまきちゃん)	712,416
	普通預金	筑邦銀行日吉町支店(3123931)	寄付受入預金(生田基金)	6,146,458
	普通預金	筑邦銀行日吉町支店(3099528)	休眠預金活用事業(2020年枠)	0
	普通預金	筑邦銀行日吉町支店(3107834)	休眠預金活用事業(2021年枠)	8,177,791
	普通預金	筑邦銀行日吉町支店(3118182)	休眠預金活用事業(2023年枠)	11,612,120
	普通預金	筑邦銀行日吉町支店(3120756)	休眠預金活用事業(2023年緊急枠)	0
	普通預金	筑邦銀行日吉町支店(3127717)	休眠預金活用事業(2024年枠)	30,125,382
	普通預金	筑邦銀行日吉町支店(3128004)	休眠預金活動支援(2024年枠)	12,607,711
固定資産合計				72,591,967
資産合計				73,697,527
流動負債	未払費用	10月分給与・法定福利費		2,548,548
	未払金			0
	前受金	特非)YNF、11月分倉庫料		5,000
	預り金	源泉徴収・特非)YNF他		484,317
流動負債合計				3,037,865
固定負債				0
固定負債合計				0
負債合計				3,037,865
正味財産				70,659,662

財務諸表に対する注記

2026.3.31
(1/2)

1. 重要な会計方針
- (1) 「公益法人会計基準」を採用しております。
- (2) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
- 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりであります。

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	3,004,813	2,719	7,532	3,000,000
特定財産				
助成金受入預金	62,523,004	0	29,747,835	32,775,169
寄付受入預金	7,064,150	13,800	1,270,933	5,807,017
合 計	72,591,967	16,519	31,026,300	41,582,186

3. 減価償却すべき資産
減価償却すべき資産はありません。
4. 担保に供している資産
担保に供している資産はありません。
5. 保証債務等の偶発債務
保証債務等の偶発債務はありません。

(2/2)

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
- 本年度受けている補助金等は、次のとおりであります。

補助金の名称等	交付者	期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分

休眠預金助成金	一般財団法人 日本民間公益活動 連携機構	62,523,004	0	29,747,835	32,775,169	指定正味財産
合 計		62,523,004	0	29,747,835	32,775,169	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりであります。

内 容	金 額
経常収益への振替額	
民間助成金の事業使用による振替額	29,747,835
寄付金振替額	1,270,933

8. 重要な後発事象
重要な後発事象はありません。

以 上